

千葉県レスリング協会【平成10年(1998)～令和3年(2021)】

はじめに

2021年、スポーツ大会最大のオリンピック、レスリング競技が本県幕張で開催された。1949年5月千葉県アマチュアレスリング協会が設立されてから72年。1964年東京オリンピックでは、山口久太先生がスポーツの普及に尽力され千葉県に1校（県立佐倉高校）しかないレスリング実施高校を増やすきっかけとなった。その成果53年の年月を経て2020東京オリンピックで開花した。2021年8月に本県幕張において本県出身の女子50kg級で須崎優衣（早稲田大学）が金メダルという快挙を達成した。設立から多くの方々がレスリング普及に励まれた成果がこのような形で記録された。特に須崎が所属した松戸ジュニアレスリングクラブ（会長渡辺弘道（早大レスリングOB、当時県レスリング協会副会長））は、レスリング競技が幕張で行われると決定されたときから地元選手が参加し金メダルをとることを願い須崎ファミリーとともに千葉県の少年少女レスリングの普及に尽力した。クラブチーム強化の新たな時代へのスタートとなった。その間、2000年のシドニーオリンピック永田克彦（県立成東高校、警視庁）がグレコローマン69kg級で銀メダル獲得し今日につながった。

（千葉県関係者のオリンピック記録）

- ・1952年ヘルシンキ 石井庄八（電通）フリースタイルバンタム級 金メダル（県立千葉高校・中央大学・電通）
- ・1964年東京 吉田義勝（日本大学、榊明治）フリースタイルフライ級 金メダル（北海道出身。1963年山口国体-1964年新潟国体に千葉県代表で出場し優勝）。
- ・1968年メキシコ 田代俊郎（中央大学職員）グレコローマンウエルター級（北海道出身。国体千葉県代表1966年1967年（優勝）1969年で出場。中央大学、中大職員）
- ・1968年メキシコ 磯貝頼秀（市立習志野高校）グレコローマンヘビー級
- ・1968年メキシコ 磯貝頼秀（市立習志野高校）フリースタイルヘビー級
- ・1972年ミュンヘン 磯貝頼秀（早稲田大学）フリースタイル100kg以上級
- ・1976年モントリオール 磯貝頼秀（ゼネラル石油）フリースタイル100kg以上級 6位入賞
- ・1992年バルセロナ 鈴木賢一（千葉読売広告社）グレコローマン130kg級
- ・1996年アトランタ 鈴木賢一（千葉読売広告社）グレコローマン130kg級 8位入賞（県立泉高校・大東文化大学・千葉読売広告社）
- ・2000年シドニー 永田克彦（警視庁）グレコローマン69kg級 銀メダル
- ・2004年アテネ 永田克彦（新日本プロレス職員）グレコローマン74kg級（県立成東高校・日本体育大学・警視庁・新日本プロレス職員・レッスルウィン代表）
- ・2021年 2020東京 須崎優衣（早稲田大学）女子フリースタイル50kg級 金メダル（松戸ジュニアレスリングクラブ・JOCエリートアカデミー／安部学院高、早稲田大学）

2016年（女子の国体採用）2017年国体 53 kgで連続優勝。皇后杯 1位）

①沿革 1998年（平成10年）～2021年（令和3年）

◎千葉きらめき総体が2005年年8月2日～5日まで佐倉市市民体育館に於いて第52回全国高等学校総合体育大会レスリング競技会が開催されました。全国高校総体（インターハイ）は都道府県の持ち回りで開催されますが、千葉県での開催は初めてでした。8年前に地元開催が決定されてから、何とかスムーズな大会運営および競技において好成績を残せるように県内指導者一同、一丸となり準備に取り組みました。その中で、関宿高校は1997年の京都府で開催されたインターハイで初出場ながらベスト8の好成績を残すことができ、2000年より県の競技力向上推進本部の指定を受け、地元インターハイに向けて強化指定校に選ばれていました。また、開催前年の千葉県レスリングチームが埼玉国体で13年ぶりの5位入賞し、県レスリングの競技力が向上し、本大会の地盤作りは出来つつありました。

県予選の結果、学校対抗戦には関宿高校と八千代松陰高校が代表に選ばれました。本大会では八千代松陰高校は2回戦で和歌山工業高校に（3－4）で惜負。

関宿高校は2回戦から出場、三重県代表の鳥羽高校に（4－3）で辛勝。3回戦は山口県の鴻城高校に（6－1）で快勝。準々決勝で佐賀県代表の鹿島実業高校に（4－3）に勝利しベスト4に進出。準決勝では茨城県の霞ヶ浦高校に（2－5）敗退するも、千葉県勢としては52回の歴史で学校対抗戦初の3位入賞に輝きました。また、個人対抗戦においても臼井壮輔 66kg（関宿）・澤田竜太 96kg（関宿）が3位。高橋勇氣 50kg（関宿）・石川光生 60kg（関宿）・矢後慎太郎 60kg（布佐）川上 翔 84kg（佐倉南）・増田拓也（佐倉南）120kgが5位入賞と近年にない好成績を収めることができました。

大会運営について、「高校生一人一役」をスローガンに、地元佐倉高校を中心に市内4校の運動部・ブラスバンド部員、放送委員会生徒など連日200名がボランティアとして積極的かつ組織的に参加する姿があった。ボランティア活動は、5年後の2010千葉国体に、大学生になった当時の高校生達やクラブチームの保護者や関係者など多くの方々が、「支えるスポーツ」参加へと継承されていった。

◎ 2010年、本県開催2度目となる千葉国体が開催された。千葉きらめき総体から5年、組織普及と強化を継続的に行い、臨んだ大会であった。普及面では県内各地にクラブチームが次々に創設され、幼児・児童期からレスリングを始める環境が整備されはじめた。千葉国体・少年84kg級で優勝を果たした白石涼（八千代松陰）も県内クラブチームから成長を果たした選手の一人である。

2015年、柏日体高校（現日本体育大学柏高校）に、レスリング部が創部された。県外の中学生大会上位入賞者やモンゴル等の海外留学生が入学し、創部1年目にして全国総体への出場権を獲得した。1年生チームで初出場ながら学校対抗戦3回戦進出を果たし、県内のみならず、全国に衝撃を与えた。同年の和歌山国体にて55kg・山口海輝（柏日体）が1

年生優勝に輝く。

2016年、同校は創部2年目にして全国総体・学校対抗戦初優勝を成し遂げる。

2017年・2018年・2019年・2021年まで、全国選抜大会や関東大会・関東選抜大会等、学校対抗戦優勝を継続する快挙を成し遂げた。2021春の全国選抜大会では、ベスト8止まりとなったが、2021夏の全国総体では準優勝へと返り咲いている。

県内の中学生やクラブで育成した選手のみならず、全国から本県へという新たな流れが作られはじめた。一方、本県で育った選手が、活動の場を県外へと移すことも出はじめた。その中には、国の一大プロジェクトであるナショナルスポーツアカデミーへと巣立つ選手も出た。小玉ジュニアレスリングクラブ出身の梅林太郎と後に2020東京オリンピックで金メダルを獲得する、松戸クジュニアレスリングクラブ出身の須崎優衣である。

2016年、国民体育大会で女子の部が加わることとなった。はじめの3年間は53kg級のみの開催（2019年から62kg級も加わる）で、48kg級から50kg級、53kg級、55kg級の世界選手権優勝経験者達が、地元の期待を背負い、レスリング界初の皇后杯を目指す大会となった。本県代表は、48kg級の世界選手権優勝の須崎優衣が参戦、体重差をものともせず、勝ち進んだ。準決勝では入江（福岡県・世界選手権優勝経験者）には失点するも判定勝ちで決勝戦に進出。決勝戦は地元岩手県の菅原（世界選手権優勝経験者）にフォール勝ち。初代優勝者となり、本県に初代皇后杯をもたらした。（2017年も連続優勝で2年連続皇后杯獲得）

高校生（少年の部）と女子の活躍に加え、本県で育った成年男子選手も充実してきたため、国民体育大会天皇杯順位も上昇し始めた。2015年（和歌山国体）16位、であったが、2016年（岩手国体）4位、2017年（愛媛国体）6位、2018年（福井国体）2位、2019年（茨城国体）2位へと躍進している。しかも、2年連続優勝の東京都との差は連続して0.5ポイントであった。

2020年（鹿児島）、2021年（三重）国体は、新型コロナウイルス感染症拡大によって中止となり、念願の天皇杯獲得に至っていない

◎2020東京オリンピック

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、2020年の東京オリンピックは異例の1年延期で本県千葉市にある幕張メッセを会場として実施された。女子50kg級で松戸クラブ出身の須崎優衣（早稲田大学）が全試合無失点で金メダルを獲得。新型コロナ禍で混乱する世相に明るい光を灯す活躍であった。

本協会の、オリンピック開催と成功へ向けて直接かかわることはなかったが、県やオリンピック委員会が行うイベント活動のスタッフとして子供たちから関係者まで活動した。2019年には女子ワールドカップ（成田市中台体育館）開催に際し本協会・高体連の人的協力。日米高校生交流大会（千葉県大会）を佐倉市の協力を頂き佐倉市民体育館にて県レスリングフェスティバルと同時開催と国際交流とレスリングの普及に努めた。

中学の活動

千葉県の中学校でのレスリング部の創設は 1969 年に関下裕文教諭により、関宿中学校に始まる。

その後、レスリング経験者が大学を卒業し、県内各地に中学校に指導者として戻り、千葉県中学校のレスリング競技が普及した。

1984 年には、当時野田市立第一中学校の関下裕文教諭と矢後眞直教諭、木口道場の(故)木口宣昭氏が発起人となり、中学生のレスリング競技の普及発展及び全国大会の予選として位置づけした「南関東中学生レスリング選手権大会」が開催された。

この大会は、現在「佐倉市長杯中学生レスリング選手権大会」と名称が変更され、佐倉市レスリング協会が中心となり現在 39 回開催に至っている(2020 年及び 2021 年は中止)。この佐倉市長杯は、毎年 6 月に行われる全国中学生レスリング選手権大会の前哨戦として、全国から毎年 200 名ほどの選手が参加している。

1990 年から、関東レスリング協会主催の「関東中学生レスリング選手権大会」が始まった。この大会は、千葉県中学生にとっては、唯一の団体戦である。千葉県はこれまで 30 回のうち、16 回の優勝を遂げており、1994 年から 2003 年においては、11 連覇を達成している。

千葉県内の中学生の活躍は、当初中学校の部活動が中心であったが、指導者教員の不足により、現在は県内クラブチームによる活動も盛んになっている。

また、県内各クラブチームの指導者の御尽力により、幼児から中学生まで継続的に指導、育成され、千葉県中学生の競技力が向上している。

これまで、全国中学生レスリング選手権大会においても、多くの選手が上位入賞を果たしており、更に中学校卒業後も競技を続け、高校、大学、社会人それぞれの分野において、現在も多くの千葉県出身選手が活躍している。

少年少女の活躍昭和 60 年に、現在の「千葉県少年少女レスリング選手権大会」にあたる「第 1 回千葉県小学生大会」が佐倉高等学校を会場に開催され、現在 35 回に至っている(2020 年及び 2021 年は中止)。

千葉県内のクラブチーム所属の幼児から小学生まで参加するこの大会は、2014 年に第 30 回を迎え、211 名の選手が参加。

この第 30 回大会において、これまで千葉県少年少女レスリングの普及発展に御尽力された方々に敬意と感謝の意を示し、功労者表彰を行った。

さらに、第 30 回大会以降、協賛を募り、大会プログラムに協賛いただいた方々の氏名等を掲載。その協賛金は、入賞者へのメダル代に充てさせていただいている。

千葉県少年少女レスリング選手権大会の開催にあたっては、各クラブの指導者、保護者の方々に大会の運営及びサポート、試合の審判等を担っていただいている。

また、各クラブチーム指導者の熱心な指導の下、全国少年少女レスリング選手権大会及び全国少年少女選抜レスリング選手権大会においても、毎年、数名の選手が優勝を遂げてい

る。

さらに、小学校卒業後もレスリング競技を続け、中学、高校、大学、社会人等で活躍している選手も多く輩出している。

2021年現在、千葉県内には12のクラブチームがあり、千葉県レスリングの普及発展に個人が子供たちの育成に私財を使い多大な貢献をいただいていることを忘れてはならない。編集協力（敬称略）。

中野由明（元理事長） 矢後眞直（元理事長。全国中学生レスリング連盟副会長） 中野秀紀 常任理事（少年少女中学統括） 吉田雅明 常任理事（高等学校体育連盟レスリング専門部委員長。国体統括） 只縄治幸 常任理事（事務局長）

②組織

(1) 歴代役員（平成10年以降）

役職	氏名
会長	1997年中村克几 2012年（逝去）
会長	2013年磯貝頼秀（至現在）
理事	1997年宮内孝憲（逝去）
長	2003年関下裕文
理事	2005年中野由明
長	2009年磯貝頼秀
理事	2013年矢後眞直
長	2015年小出日出夫
理事	1997年斉藤修
長	2013年只縄治幸（至現在）
理事	
長	
理事	
長	
事務	
長	
事務	
長	

2) 現役員

役職	氏名
会長	磯貝頼秀
副会長	三須尚紀

副会長	齊藤修
理事長	小出日出夫
事務長	只縄治幸
常任理事	高橋幸治・渡辺洋吉・吉田 雅明・佐藤秀男・中野秀紀・ 鈴木俊英・中村孝徳・真田 栄作・小室廣一・岡田亮・ 関志之武・エスファンジャ ーニ・ジャポ
会計監査	長谷川照慈・須崎康弘
事務局補 佐	今野英美

③成績

○国民体育大会（成年F&G。女子F。少年F&Gの1位-3位）選手（個人戦績）

・1998年神奈川・逗子アリーナ

成年 F63 kg級大木恵一（2位）

少年 F76 kg級上原重幸（3位）

少年 G52 kg級大津卓睦（3位）

少年 D56 kg級村瀬健（3位）

・1999年熊本・玉名市総合体育館

成年 G54kg 級大津卓睦（3位）

成年 F130 kg級鈴木賢一（2位）

少年 F76 kg級吉田毅（3位）

少年 G49kg 級和田宗法（2位）

少年 G60 kg級山口正幸（5位）

・2000年富山一黒部市YKK体育館

成年 F130 kg級鈴木賢一（2位）

成年 G54kg 級大津卓睦（3位）

少年 F46 kg級和田宗法（優勝一関宿）

・2001年宮城一宮城産業交流センター

成年 F130 kg級鈴木賢一（優勝・読売千葉広告社）

・2002年10/27～30 高知一宿毛高

成年 G58 kg級大津卓睦（3位）

・2003年静岡一東伊豆勤労者体育センター

成年 G55 kg級和田宗法（2位）

- ・ 2004 年埼玉一新座市民体育館
 - 成年 G55 kg級和田宗法 (3 位)
 - 成年 G60 kg級大津卓睦 (3 位)
 - 成年 G74 kg級吉田毅 (3 位)
 - 成年 G84 kg級長柄克彦 (2 位)
 - 少年 F55 kg級渡辺大 (3 位)
 - 少年 F120 kg級澤田竜太 (3 位)
- ・ 2007 年秋田・潟上市昭和体育館
 - 少年 F66 kg級吉川嵩吾 (3 位)
 - 少年 F96 kg級斉藤和也 (2 位)
 - 少年 G50 kg級高安直人 (3 位)
 - 少年 G120kg 級増田拓也(優勝・佐倉南)
- ・ 2009 年新潟市白根カルチャーセンター
 - 少年 G96 kg級桜井聡紀(優勝一八千代松陰)
- ・ 2010 年千葉・佐倉市民体育館
 - 少年 F84 kg級白石涼(優勝一八千代松陰)
 - 成年 F84 kg級鈴木豊 (3 位)
 - 少年 G96 kg級戸塚誠 (2 位)
- ・ 2013 年東京一文京スポーツセンター
 - 84 kg級永井基生 (3 位)
- ・ 2014 年長崎・島原復興アリーナ
 - 成年 F61 kg級高安直人 (優勝・高安組)
 - 成年 F74 kg級砂川航祐 (優勝・柏日体高教)
 - 成年 F125 kg級宮原将裕 (優勝一大東大)
 - 少年 G96 kg級永井基生 (2 位)
- ・ 2015 年和歌山一那智勝浦町文化体育会館
 - 少年 F55 kg級山口海輝(優勝・柏日体)
- ・ 2016 年岩手一宮古市総合体育館 (女子第 1 回)
 - 成年 F61 kg級高安直人 (3 位)
 - 女子 53kg 須崎優衣(優勝・JWA)
 - 少年 F50 kg級服部大虎 (3 位)
 - 少年 F60 kg級伊藤謙心 (3 位)
 - 少年 G74 kg級井筒通人 (3 位)
 - 少年 G84k 級佐々木雄大 (3 位)
 - 少年 G96 kg級白井達也 (2 位)
 - 少年 G120 kg級アビット・ハルー (2 位)

・2017年愛媛一宇和島市総合体育館

成年 F61 kg級高安直人 (3位)

女子 53kg 須崎優衣 (優勝・JWA)

成年 F125 kg級宮原将裕 (3位)

少年 F50 kg級竹下雄登 (3位)

少年 F56 kg級谷口日向 (3位)

少年 F92 kg級白井達也 (優勝一日体大柏)

・2018年福井・おおい町総合運動公園体育館

成年 F74 kg級梅林太郎 (2位)

女子 53kg 五十嵐未帆 (3位)

少年 F51 kg級田名部魁聖 (2位)

少年 F55 kg級竹下雄登 (優勝一日体大柏)

少年 F92 kg級白井達也 (2位)

少年 F125 kg級宮本海渡 (優勝一日体大柏)

少年 G71 kg級丸山蒼生 (3位)

・2019年茨城・アダストリアみとアリーナ

成年 F61 kg級森下史崇 (2位)

成年 F97 kg級吉田ケイワン (優勝一日大)

女子 53kg 五十嵐未帆 (2位)

少年 F65kg 級山倉孝介 (2位)

少年 F71 kg級高田熙 (優勝一日体大柏)

少年 F125 kg級ドワードルン・ブフチヨローン (優勝一日体大柏)

少年 G8 kg級山田脩 (優勝一日体大柏)

少年 G120 kg級持家空弥 (2位)

・2020年鹿児島・日置市吹上浜公園体育館

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

・2021年 三重県津市サオアリーナ

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

○全国高等学校総合体育大会 (フリースタイル) 優勝選手(1998-2021)

・2000年岐阜・岐阜アリーナ

50kg 級和田宗法 (関宿)

・2009年奈良一奈良市中央体育館

96kg 級桜井聡紀 (八千代松陰)

・2014年神奈川・横須賀アリーナ

女子 46 kg級五十嵐未帆 (至学館) (国体千葉県代表)

- ・2015年京都・舞鶴文化公園体育館
女子 46 kg級須崎優衣 (JWF) (国体千葉県代表)
- ・2016年広島・東広島運動公園体育館
学校対抗戦 日体大柏
55kg 級山口海輝(日体大柏)
120kg 級プレブスレン・デレグレバヤル(日体大柏)
- 女子 49 kg級須崎優衣 (JWF) (国体千葉県代表)
- ・2017年山形・三友エンジニア体育文化センター
学校対抗戦 日体大柏
50kg 級竹下雄登(日体大柏)
55kg 級服部大虎(日体大柏)
96kg 級白井達也(日体大柏)
- ・2018年三重ーメツセウイング・みえ
学校対抗戦 日体大柏
120kg 級宮本海渡(日体大柏)
- ・2019年熊本・玉名市総合体育館
学校対抗戦 日体大柏 (四連勝)
96kg 級トワードルジ・ブフチヨローン (日体大柏)
- ・2020年群馬・ダノン城沼アリーナ
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- ・2021年福井・おおい町総合運動公園体育館
51Kg 級松村祥太郎 (日体大柏)
125kg 級バトバヤル・ナムバルダグワ (日体大柏)
女子 50kg 級片岡梨乃(日体大柏)

○全国高校選抜大会歴代優勝選手(1998-2021)

- ・2000年新潟ー新潟市体育館
50 kg和田宗法(関宿)
- ・2007年新潟ー新潟市体育館
120 kg増田拓也(佐倉南)
- ・2011年新潟ー新潟市体育館
(東日本大震災のため中止)
- ・2016年新潟ー新潟市体育館
120kg プレブスレン・デルゲルバヤル(日体大柏)
- ・2017年新潟ー新潟市体育館
学校対抗日体大柏

50 kg谷口龍我(日体大柏)

55kg 山口海輝(日体大柏)

96kg 白井達也(日体大柏)

・2018年新潟一新潟市体育館

学校対抗日体大柏

96kg 白井達也(日体大柏)

120kg 宮本海渡(日体大柏)

・2019年新潟一新潟市体育館

学校対抗日体大柏

80 kg山田脩(日体大柏)

・2020年新潟一新潟東総合 SC

学校対抗日体大柏

92kg トワードルジ・ブフチヨローン(日体大柏)

・2021年新潟一新潟東総合 SC

125 kgハトハヤル・ナムバルダグバ(日体大柏)

○関東高等学校大会優勝者(1998-2021)

・第44回1998年茨城県立スポーツセンター

フリー115kg 伊藤(関宿)

グレコ 90kg 大勢持(野田北)

・第45回1999年飯能市民体育館

フリー49kg 和田(関宿)

グレコ 115kg 山内(関宿)

・第46回2000年甲府市小瀬体育館

フリー50kg 和田(関宿)

フロー58 kg堀(八松陰)

・第47回2001年足利市民体育館

グレコ 52 kg松嶋(野田北)

・第48回2002年佐倉市民体育館

グレコ 50kg 齊藤(八千松陰)

・第49回2013年駒沢公園体育館

グレコ 50kg 渡辺(関宿)

・第52回2006年茨城県立スポーツセンター

フリー50 kg高橋(関宿)

グレコ 56 kg大用(関宿)

・第53回2007年甲府市小瀬武道館

フリー84 kg 吉 田(関宿)
フリー96 kg 齋 藤(泉)
グレコ 50kg 山 田(佐倉南)
グレコ 120 kg 増 田(佐倉南)
・第 54 回 2008 年大東文化大学総合体育館
グレコ 50kg 山 田(佐倉南)
グレコ 55kg 曾 我(八千代松陰)
・第 55 回 2009 年佐倉市民体育館
グレコ 66kg 亀 井(野田中央)
グレコ 96 kg 桜 井(八千代松)
・第 56 回 2010 年足利市民体育館
グレコ 66kg 亀 井(野田中央)
グレコ 96 kg 戸 塚(佐倉南)
・第 57 回 2009 年駒沢公園体育館
グレコ 66kg 桜 井(八千代松陰)
・第 61 回 2015 年埼玉県上尾運動公園体育館
フリー60 kg 田(八千代松陰)
フリー120 kg Delgerbayar (柏日体)
・第 62 回 2016 年小瀬スポーツ公園武道館
フリー団体 1 位日本体育大学柏
フリー120 kg PUREVSREN DELGERBAYAR (日体大柏)
・第 63 回 2017 年足利市民体育館
フリー団体 1 位日本体育大学柏
フリー50 kg 竹 下(日体大柏)
フリー55 kg 服 部(日体大柏)
フリー120 kg ABID(日体大柏)
グレコ 60 kg 大河原(四街道)
グレコ 96 kg 宮 本(日体大柏)
・第 64 回 2018 年佐倉市民体育館
フリー団体日本体育大学柏
フリー51 kg 田南部(日体大柏)
フリー55 kg 竹 下(日体大柏)
フリー71 kg 山 田(日体大柏)
フリー80kg 奥 井(日体大柏)
フリー125Kg 宮 本(日体大柏)
グレコ 80kg 高 田(日体大柏)

・第 65 回 2019 年駒沢公園体育館

フリー団体 1 位日本体育大学柏

フリー51 kg 田南部(日体大柏)

フリー71 kg 深 田(日体大柏)

フリー80kg 山 田(日体大柏)

フリー92kg トワードルジ ブフチョローン(日体大柏)

グレコ 71 kg 高 田(日体大柏)

女子 50kg 片岡梨乃(日体大柏)

・第 66 回 2020 年熊谷スポーツ公園くまがやドーム (コロナ緊急事態宣言下のため中止)

・第 67 回 2021 年逗子アリーナ体育館

フリー団体 1 位日本体育大学柏

フリー51 kg 松 村(日体大柏)

フ リー125Kg BATBAYAR NAMBARDAGVA(日体大柏)

グレコ 55 kg 高 木(日体大柏)

○全国中学生選手権歴代優勝選手(1998-2021)

・1998 年茨城県立スポーツセンター

45 kg 大庵弘法(木間ヶ瀬 3)

48 kg 松嶋一樹(木間ヶ瀬 3)

83 kg 新堀武(二川 3)

・2000 年茨城県立スポーツセンター

59 kg 神野忠勝(木間ヶ瀬 3)

・2001 年茨城県立スポーツセンター

38 kg 中井伸一(松戸六 1)

・2003 年茨城県立スポーツセンター

38kg 高橋勇氣(木間ヶ瀬 2)

・2004 年茨城県立スポーツセンター

85kg 松崎広大(木間ヶ瀬 3)

・2007 年茨城県立スポーツセンター

85kg 級永井健太(山王 3)

・2010 年茨城県立スポーツセンター

女子 41kg 坂上楓舞希(八木が谷 3)

・2012 年茨城県立スポーツセンター

女子 34kg 須崎優衣(六実 1)

・2013 年茨城県立スポーツセンター

66kg 梅林太郎 (JWA 小玉ジュニア出身)

女子 40kg 須崎優衣 (JWA 松戸ジュニア出身)

・2014年茨城県立スポーツセンター

女子 46kg 須崎優衣 (JWA 松戸ジュニア出身)

・2020年茨城・アダストリアみとアリーナ

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

・2021年茨城・アダストリアみとアリーナ

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

○全国中学生選抜選手権歴代優勝選手(2010-2021)

・2012年東京・駒沢体育館

59kg 梅林太郎 (JWA/小玉ジュニア出真)

女子 37 kg 須崎優衣 (松戸ジュニア)

女子 57 kg 矢後愛佳 (柏クラブ)

・2013年東京・駒沢体育館

66kg 梅林太郎 (JWA/小玉ジュニア出真)

女子 40 kg 須崎優衣 (JWA/松戸ジュニア出身)

・2014年東京・駒沢体育館

100kg 武藤翔吾 (千葉・野田一中 3)

女子 44 kg 須崎優衣 (JWA/松戸ジュニア出身)

・2015年東京・駒沢体育館

73kg 奥井真吉 (千葉・柏日体クラブ 3)

・2019年東京・駒沢屋内球技場

38kg 吉田アリヤ (JWA/市川コシティ出身)

・2020年東京・駒沢屋内球技場

コロナウイルス感染拡大防止の為中止

・2021年東京・駒沢屋内球技場

48kg 吉田アリヤ (JWA/市川コシティ出身)

女子 42 kg 片岡優 (柏二中 1 / チームリバーサル)

○関東中学生レスリング選手権大会(県選抜団体) 優勝(H10-R3)

9回 1998年上野原町民体育館 千葉県

10回 1999年東洋大学レスリング場 千葉県

11回 2000年県立佐倉高校レスリング場 千葉県

12回 2001年茨城県立スポーツセンター 千葉県

13回 2002年足利工業大学附属高校 千葉県

- 14回 2003年 館林市立城沼総合体育館 千葉県
- 15回 2004年 国士舘大学体育館 千葉県
- 20回 2009年 山梨学院大学樹徳館 千葉県
- 23回 2012年 大森学園高等学校 千葉県
- 24回 2013年 関宿総合公園体育館 千葉県
- 30回 2019年 栃木県立馬頭高等学校 千葉県
- 31回 2020年 中止：コロナ感染拡大のため
- 32回 2021年 中止：コロナ感染拡大のため

○千葉県少年少女選手権（団体戦）（1998-2021）

- 14回 1998年 関宿市 優勝チーム（同点優勝）松崎ジュニアレスリングクラブ・松戸ジュニアレスリングクラブ
- 15回 1999年 松戸市 優勝チーム 柏レスリングクラブ
- 16回 2000年 柏市 優勝チーム 松戸ジュニアレスリングクラブ
- 17回 2001年 野田市 優勝チーム 松戸ジュニアレスリングクラブ
- 18回 2002年 佐倉市 優勝チーム（同点優勝）松崎ジュニアレスリングクラブ・松戸ジュニアレスリングクラブ
- 19回 2003年 野田市 優勝チーム 松戸ジュニアレスリングクラブ
- 20回 2004年 松戸市 優勝チーム 小玉ジュニアレスリングクラブ
- 21回 2005年 柏市 優勝チーム 小玉ジュニアレスリングクラブ
- 22回 2006年 佐倉市 優勝チーム（同点優勝）小玉ジュニアレスリングクラブ・松戸ジュニアレスリングクラブ
- 23回 2007年 野田市 優勝チーム 松戸ジュニアレスリングクラブ
- 24回 2008年 松戸市 優勝チーム 松戸ジュニアレスリングクラブ
- 25回 2009年 柏市 優勝チーム 小玉ジュニアレスリングクラブ
- 26回 2010年 野田市 優勝チーム 松戸ジュニアレスリングクラブ
- 27回 2011年 松戸市 優勝チーム（10人制）松戸ジュニアレスリングクラブ（5人制）関宿レスリングクラブ
- 28回 2012年 柏市 優勝チーム（10人制）小玉ジュニアレスリングクラブ（5人制）パラエストラ チームリバーサル
- 29回 2013年 野田市 優勝チーム（10人制）小玉ジュニアレスリングクラブ（5人制）KING'Sジュニアレスリングクラブ
- 30回 2014年 佐倉市 優勝チーム（10人制）小玉ジュニアレスリングクラブ（5人制）GOLDENSTAR レスリングクラブ
- 31回 2015年 松戸市 優勝チーム（10人制）小玉ジュニアレスリングクラブ（5人制）GOLDENSTAR レスリングクラブ

32回 2016 柏市 優勝チーム(10人制)パラエストラ チームリバーサル(5人制)GOLDENSTAR レスリングクラブ

33回 2017 野田市 優勝チーム(10人制)パラエストラ チームリバーサル(5人制)関宿レスリングクラブ

34回 2018 柏市 優勝チーム(10人制) (同点優勝 (松戸ジュニアレスリングクラブ・パラエストラ)チームリバーサル(5人制)関宿レスリングクラブ

35回 2019/6/30 佐倉市 優勝チーム(10人制)パラエストラ チームリバーサル(5人制)関宿レスリングクラブ

36回 2020 コロナ禍で中止

37回 2021 コロナ禍で中止